



ニュースレポート

令和7年11月19日

報道機関各位

赤穂市民病院 医療安全推進室

タイトル 医療安全実施要項の規定に基づく医療事故の公表について
(令和7年4月～令和7年9月分)

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願ひいたします。

行事・事業名	医療事故の公表について（令和7年4月～令和7年9月分）
日 時	
場所・住所	
趣旨・目的（PRしたいこと）	
赤穂市民病院において、令和7年度上半期に発生した医療事故について、別紙のとおり公表します。	
問い合わせ先 部課係名：市民病院 医療安全推進室／医療課 担当者名：松下佐智子（医療安全推進室）/橋本浩一（医療課） 電 話：0791-43-3222（代） F A X：0791-43-0351	

○添付資料（有・無） ○ホームページへの掲載（有・無） ○議会報告（有・無）

令和7年11月19日

医療事故の公表について（令和7年4月～令和7年9月報告分）

赤穂市民病院

赤穂市民病院では、より良いセーフティマネジメントの確立及び医療事故に関する透明性の確保をするとともに、患者様やそのご家族、市民や地域に対し誠実に対応するため、医療安全対策実施要項の規定に基づき、下記のとおり医療事故を公表します。

記

(包括公表)

発生年月	概要	原因	再発防止策
令和7年8月	経皮的冠動脈形成術施行中、バルーン拡張による冠動脈穿孔を合併。外科的止血術が必要と判断し、高度医療機関へ転院となった。	拡張血管自体の石灰化病変や、石灰化病変部の衝撃波による血管壁への影響のため、バルーン拡張時に血管が偏心性に拡張され、穿孔に至った可能性が推察される。	<ul style="list-style-type: none">・経皮的冠動脈形成術施行時、石灰化病変を伴う患者の治療を実施する場合はさらに、慎重に血管の状態を観察する。・衝撃波実施時はさらに、実施後の血管の状態を詳細に観察する。